

講義コード		科目区分	専門教育科目
(フリガナ)		(フリガナ)	フクダ トシオ
授業科目名	インターンシップ	担当教員名	福田 敏夫
英文授業科目名	Intern ship		
基準年次(開講期)	3年(後期)	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室	池袋		
授業の方法	演習	授業の方法 (詳細情報)	講義3回 研修5日間(40時間)
単位	2	週時間	
授業のキーワード			
授業概要・目的	一般社会のビジネス現場での就労体験を通して、「働く」ことの意義を学ぶ。そのため、事前の研修指導を受け、その中で職業意識の喚起やビジネス・マナーなどを座学で習得する。研修先が確保されると先に業務内容を把握し、研修手続きを行い5日間(40時間)の研修を行う。研修内容は研修日誌を書き、終了後に報告書及びアンケートにまとめ、提出する。教室での教育は3回実施。他は企業での研修を行う。		
到達度評価の評価項目	インターンシップ(就労研修)の経験を通して、社会から求められるビジネス・マナー、スキル及びコミュニケーション技術の習得に努め、今後の就職活動につなげる。 評価は「研修報告書」「研修アンケート」及び面談による総合評価を行う。		
授 業 計 画			
第1回	インターンシップとは何か(就労体験の意義など)		
第2回	インターンシップ実施の心構え(ビジネス・マナー)		
第3回	インターンシップに必要な知識(日本の企業が要求する人材像)		
第4回	「研修」開始 研修日誌作成		
第5回	「研修」研修日誌作成		
第6回	「研修」研修日誌作成		
第7回	「研修」研修日誌作成		
第8回	「研修」研修日誌作成		
第9回	「研修」研修日誌作成		
第10回	「研修」研修日誌作成		
第11回	「研修」研修日誌作成		
第12回	「研修」研修日誌作成		
第13回	「研修」研修日誌作成		
第14回	「研修」研修日誌作成		
第15回	実習事後指導(報告書の提出と面談)		
教科書・参考書等			
授業で使用する機器等			
予習・復習へのアドバイス	インターンシップを希望する業界・企業研究することが望ましい。		
履修上の注意・受講条件等	教室での座学を3回全出席することが、研修開始の条件である。		
成績評価の基準等	教室での座学は3回全出席、実習は5日間実施(1日でも欠席は認めない)及び研修報告書及び研修実施アンケート提出内容による評価		
メッセージ	日本企業に就職を希望するためにも、必要不可欠な就労体験である。		
オフィスアワー			
その他			

